

2004 春・看護要求実現全国交流集会へ参加を！

全国から看護師メッセージが 4000 を超えて集まっています。「看護師」という職業に疲れた、プライベートまで仕事に染められている、事故の不安にさいなまれながら業務に追われ、やりがいも働きがいも奪われている、などなど悲痛な叫びがメッセージの大半です。「いのち 安全 増員」は全国どこの病院でも、共通の課題になっています。

今年こそ、看護の誇りとやりがいを取りもどし、笑顔と元気をとりもどすために、全国の看護師が心一つにがんばれるよう全国交流集会を行います。

2004年2月3日(火) 13:00~4日(水) 12:30

熱海市「後樂園ホテル」(参加費2000円 宿泊費13000円(含む2食) 合計15000円)

記念講演 「医療事故から学ぶー医療の現実と改革の課題」

講師 小林 洋二氏(弁護士・患者の権利法をつくる会事務局長)

「職場は変えられる 私たちのチャレンジ」(職場からのたたかひの報告)

「調査から運動へ(退庁時間調査と呼吸器調査)」(全医労)

「職能給の導入を跳ね返して」

「2年課程通信制の養成所設置をめざして」(新潟県医労連)

分科会： 「看護職の労働条件の根幹 増員・夜勤協定」 「看護職場の総点検、事故防止のとりくみ」
「違法なサービス残業・宿日直の改善を」 「職能給の導入は許さない」
「職場に役立つプリセプター、委員会・研修」 「2年課程通信制と看護制度」
「看護職場に活かす労基法の基礎知識」(基礎講座)

新年をむかえ

新たな決意で看護闘争の飛躍を



全日赤・旭川

救急業務担当看護師の当直制廃止 夜勤増員！

今年の4月より救急業務担当の看護師の当直制を廃止し、救急外来の準夜・深夜を各1名増員することになりました。

これによる増員は5~8名で、準夜5名、深夜3名になり、総数30~33名(現行25名)に配置となります。

富山民医労

「変形労働制導入のために就業規則の一方的変更」を撤回！

働くルールの根幹である「就業規則の変更」を一方的に行い、労働組合が中止の申し入れを行ったにもかかわらず強行しました。東海北陸ブロックが支援しながら交渉を重ね、謝罪と撤回を経営者に行わせました。

導入された、登録ヘルパーの「中抜けの変形労働」を除いて、栄養士、放射線科については、再度協議を行い、労使協定で要件を特定していくこととしました。

長厚労

「8日夜勤の再協定と予備率15%」を7支部で協定、増員も！

長野厚生連労組では、03春闘で獲得した覚書を03年度から3ヶ年計画で、各事業所ごとに協定するための交渉を重ねていましたが、7支部で増員の約束も含めて協定化を実現しています。今春闘も、全支部で協定化をと継続中です。

全日赤・京二

始業前のサービス残業2年間の支払い約束

サービス残業をなくす運動に取り組んでいます。ポスターを張り出したり、組合ニュース、職場会議で「請求しよう」キャンペーンをはり、サービス残業撤廃を呼びかけ運動しています。

昨年の秋闘では、経営者に「実働した分は、請求すれば時間外手当を支払う」という対応をしている。請求したものを制限したり、始業前がだめだとかの制限はしていない」との回答を引き出しました。

そして、外科病棟で術前の早出業務が午前8時からになっているのに、実際は業務手順でも7時50分から業務に就くようになっており、残業手当も支払われていなかったため、この改善をせまりました。

結果、2年間にさかのぼってサービス残業分の支払いを、交渉の中で約束させました。